

会 振

も く じ

県民オペライタリア公演を終えて……………	1
第31回大分県芸術祭アルバム……………	2
第31回大分県芸術祭賞等受賞者一覧……………	3
第31回大分県芸術祭に参加して……………	4～5
第10回国民文化祭 とちぎ'95に参加して……………	6
花ひらけ大分の国民文化祭……………	7
事務局だより……………	8



大分県芸術文化振興会議

No. 96

平成7.12

■発行人：仲町謙吉 ■編集人：末廣利人

(題字 堤崑山)



県民オペライタリア公演を終えて

大分県民オペラ協会

会長 小 長 久 子

11月1日2時20分、私たちは大分空港をチャーター機で発ち21時30分ミラノに到着、バスで高速をパルマ市へと急いだ。南へ汽車で1時間、バスで2時間のところを霧がなく早く着いた。

パルマ市は人口20万の落ち着いた街、紀元前6世紀にエトロスキ人によって建設され、中世にはロンバルディア都市同盟の自由都市として繁栄、1545年からファルネーゼ家のもとで華かな文化を誇る公国として栄え、19世紀ナポレオンの失脚後ハプスブルグ家の皇女彼の二度目の妻であるマリ・ルイーゼが統括し、歌劇場テアトロ・レージョを建設、バガニーニなどを厚遇、音楽文化に貢献した。音楽の盛んな街であり、イタリアの最も耳の肥えた聴衆はパルマの観客であると言われている。またスタンダールの名作「パルムの僧院」の舞台、名指揮者トスカニーニの生地でもあり、付近でヴェルディも生まれている。

私達はホテル「トスカニーニ」と「スタンダール」に到着した。

2日歌劇場の別室でオーケストラ合せをする。既に指揮者星出豊、加藤公康両先生は一週間前に着きオーケストラとの練習に入り、裏方は3日前から2ヶ月かかって海上輸送した大道具類の仕込みにかかっていた。

このテアトロ・レージョはマリ・ルイーゼ皇后が8年の歳月をかけて建設した白に黄金の飾り、真紅のヴェルヴェットがシャンセリアに映え、1,700席6層のイタリアで最も美しい歌劇場の一つと云われている。

4日夜9時、いよいよの本番、トスカニーニ出身校のポイト音楽院のオーケストラを星出先生はよくまとめ上げ、出演者も全力投球した。聴衆は床を踏み鳴らし歓声をあげ、盛大な拍手を送ってくれた。5日3時半からの公演も盛り上がった。

日本から作曲台本の原嘉寿子、評論の佐藤克明先生、文化庁から佐藤康宏氏、県から笠置教育次長、末廣文化課長、大分合同新聞社の狭間久氏、テレビ大分から赤瀬哲朗、池辺強氏、ミラノの小松総領事も駆けつけて下さった。日本週間のイベント茶の湯、生花、書道、ちぎり絵、切り絵、絵画展、着物展などもパルマの人達から最高に歓迎され喜ばれた。劇場主から「またぜひいらして下さい。」と言われた。

8日はこの旅のハイライト、ローマ法王庁を訪問、6,000人の最前列の席を与えられ、「ペトロ岐部」の「天上の合唱」と「荒城の月」を歌った。法王は日本語で公演の労をねぎらわれ、私は2人の方（ペトロ岐部子孫の溝部学園理事長相良範子氏と、日本週間代表の茶道出田昌子氏）と大理石の壇上に上り法王に記念品を捧げ、握手することができたのは無上の喜びであった。

おわりにこの公演を推進するため物心両面の大きな力をお貸し下さった文化庁、大分県、各財団をはじめ県民の皆様方に心から厚く御礼を申し上げる次第である。

中山 直美（県美協会員）

第31回大分県芸術祭

第31回 県芸術祭アルバム



◀開幕公演
「日本の韻へ～
糸竹に寄せて」
10月1日
ビーコンプラザ
フィルハーモニアホール
／大分県三曲協会

▼第11回園田高弘賞ピアノコンクール本選会
11月25日 大分県立芸術会館



▲中幕公演 「花の会10周年記念演奏会」
11月10日 大分県立芸術会館／花の会

おおいた音楽芸術週間▼
「チャイコフスキーの夕べ」
11月13日 ビーコンプラザフィルハーモニアホール



▲閉幕公演 「大友宗麟を支えた男戸次道雪」
12月2～3日 大分県立芸術会館／大分県民演劇制作協議会



▲大分県美術展
10月10日～ 大分県立芸術会館／大分県美術協会



▲国際音楽の日記念コンサート 「響・新しきものふるさと」
10月1日 大分市ガレリア竹町／大分県音楽団体協議会

第31回大分県芸術祭賞等受賞者一覧

6 団体・4 個人に決まる

賞	団体・個人名	推薦理由
芸術祭賞	大分県三曲協会 代表/後藤 碩山(会長) [redacted]	第31回芸術祭開幕行事「日本の調べ～糸竹に寄せて」を成功させた。
	花の会 代表/三浦 美穂 [redacted]	第31回大分県芸術祭中幕公演「オペラへの誘い」を成功させた。
	大分県民演劇制作協議会 代表/中沢とおる [redacted]	第31回芸術祭の閉幕行事「大友宗麟を支えた男・戸次道雪」を成功させた。
功労賞	渡辺 源六 (玖珠語りべ ひこわの会) [redacted] 職業/無職 [redacted]	<p>温厚で明朗、各地の民話を方言で語るユニークな話口調で有名。その他日本童話や世界の童話の名前や登場人物を読み込んだ「童話しりとり歌」「豊後浄瑠璃」を語り、ひとり芝居などにも取組み、意欲的な活動を続けている。</p> <p>口演童話発祥の地といわれる玖珠町で地域を中心として長年児童文化活動を継続してきた。</p> <p>県芸術文化振興会議と共催で毎年県内各地で公演している大分県児童文化祭(芸術祭主催)毎年率先して参加。</p> <p>5月5日の日本童話祭の運営、語りべひこわの会のおはなし会と会報の発刊、巡回わらべ劇場の公演と童話学校の指導など子ども文化のリーダーとしての実績を重ね県芸術文化の振興と地域文化の発展に大きく貢献した。</p> <p>玖珠語りべひこわの会会長。わらべサークル協議会副会長。わらべの館運営委員会副会長、つむれの会副会長、大分語りべの会常任委員。</p>
	大分県高等学校文化連盟 代表/藤井 昭義(会長) 所在地/大分市大字羽屋600-1 (大分豊府高校内)	大分市において第20回大分県高等学校総合文化祭(芸術祭共催行事)を盛大に実施し、芸術祭の発展に貢献した。
奨励賞	三ヶ尻善子 (大分県民演劇制作協議会) [redacted] 職業/会社員 [redacted]	閉幕行事「大友宗麟を支えた男・戸次道雪」で、道雪の妻仁志と、作品全体を説明していく語り役の統一した演技を見事に演じ、大作の主役の重責を完璧に果たした。
	若柳 寿和 (若柳流大分県協会) [redacted] 職業/日本舞踊家 [redacted]	<p>芸術祭初参加にて「第五回和扇会」を催し、古典にもとづく19曲を発表し、特に東京から若柳流理事若柳吉優氏を招いて大曲「紀州道成寺」を演じ、大きな成果を得た。</p> <p>若柳流掃箒20年、若柳流大分県協会発会5年。</p> <p>平成4年、第四回和扇会にて、第28回芸術祭協賛行事として参加。芸術文化キャラバンに平成3、6年出演。</p>
特別感謝状	呉 恵 珠 [redacted] 職業/ピアニスト [redacted]	<p>花の会リサイタルの伴奏者として、今回の中幕公演では企画、構成、指導に多大な協力を得、演奏会を成功に導くのに大きな貢献をした。</p> <p>東京都出身、東京芸術大学音楽部ピアノ専攻科卒業。藤原歌劇団、二期会などの専属ピアニストを務めた。</p>
	別府市実行委員会 代表/井上 信幸(別府市長) 所在地/別府市上野口町1-15	閉幕行事の成功に大きく貢献した。
	大分県音楽団体協議会 代表/丹羽 登 [redacted]	「国際音楽の日記念コンサート」を企画、実施して国際音楽の日の趣旨の普及につとめ、芸術文化の振興に貢献した。

第31回大分県芸術祭に参加して

県俳句連盟の更なる飛躍を



大分県俳句連盟事務局長

香 下 壽 外

大分県俳句大会の開催回数は、県芸術祭の開催回数より、2を引けばよい。まさに「芸術祭先にあるべき」である。これは連盟発足の由来を自ずから物語るもので、毎年この回数を見るにつけ、先人諸賢のご協力ご功績に深い思いを馳せている。

県芸術祭も、昨年30回の記念の節目を超えたが、県俳句大会は此処数年参加者が伸びず、本年漸く300人の大台に達し、来年の30回記念大会で更なる飛躍への可能性を確かめる事が出来た。

国民文化祭の大分県開催が3年後に迫っており、俳句部門も流派を越えて協力し、初期の目的を達成しなければならない。そして先人の築いた礎石の上に、21世紀に向けた新しい実績を、重ねてゆかねばならないと考えている。

作品も年々充実



大分県俳画協会

安 立 佐 与

第31回大分県芸術祭に参加してというテーマを頂き、改めて俳画協会の歩みを回顧する機会ともなりました。俳画協会は今年で18回目の作品展でしたが発足当時は同好会という名目でそれぞれが気儘に描いた作品を持ち寄って展示して楽しんでいました。その内芸術祭参加の仲間入りをさせて頂き俳画に対する心意気といいま

しょうか芸術の一端を担っているとの自負心を感じるようになりました。会長挾間先生の「年々皆の作品が立派になった」とのおことばにおだてられ未熟ながら皆で頑張ってきたと思います。作品も年々充実し今年の31回芸術祭参加作品は非常によくなったとの好評を得られ会員一同喜びを味わっています。会員層も30代より100才（役員）という幅広い層ですが作品は一人一人の感動が表現され見る人の心を動かしている事と思います。これからももっと多くの人が俳画を楽しんで頂きたいと思っています。

祝 芸術祭「豊に舞う」



別府市芸術文化協会

花 柳 昌吉郎

第31回大分県芸術祭主催公演「日本の韻へ糸竹に寄せて」を大分県三曲協会が公演し、その賛助公演として、オープニングに「祝芸術祭豊に舞う」を別府市芸術文化協会が日本舞踊、常盤津「菊の盃」で参加致しました。その後「国際音楽の日に寄せて」記念講演久保田敏子先生の、わかりやすく楽しいお話があり、1時より、三曲協会の優雅で美しい演奏にて、大ぜいの観客を夢の世界へいざないました。開幕行事が、初めて地元の別府市で、新設されたビーコンプラザフィルハーモニアホールで開催され、別府市民が長年まちに待ったホールが出来まして市民の間では、邦楽、邦舞には少々使いにくい所があるとの声もありますが……。

身近な所にこんな立派なホールが出来たのですから、これを機に皆様の邦楽、邦舞に対する関心を一層高め、芸術文化活動の輪が広がっていく事を切に望んでおります。

成功した「国際音楽の日」コンサート



大分県音楽団体協議会会長

丹 羽 登

昨年の11月25日に「音楽振興法」(略称)が制定され、今年から10月1日を「国際音楽の日」とし、文化団体の行う音楽活動の振興を図るよう国から県に通知があり、各文化団体に知らされた。

これをうけ私ども「音楽団体協議会」は7月20日の役員会で協議、役員各位の積極的な賛同を得て「国際音楽の日記念コンサート」の開催を決定し8月22日と9月12日に準備会議を開催した。

10月1日の午後「ギャラリー竹町ドーム広場」で、マンドリンオケやギター合奏を始めジャズ、吹奏楽の演奏、それに邦楽、沖縄音楽の発表など6団体が2時間半のコンサートを実施した。

この日は、心配された雨もあがり天候にも恵まれ、又県や文化課、芸振その他企業などの温かいご支援ご協力を頂き、大成功のうちに終了した。

役員各位は、今後とも積極的に「国際音楽の日」を生かした活動をしたいと話している。

平成10年の国民文化祭に向けて



エリカクラウエンコール

飯 倉 貞 子

10月28日、エリカクラウエンコールの第9回定期演奏会が無事終わった。第31回大分県芸術祭参加として催されたのだが、第1回芸術祭開幕

の大合唱「森の歌」に私も参加してから30年がたったわけで、その間、開幕、閉幕の大きな行事や、2年ごとに開くエリカの定演で芸術祭に参加させていただいた。

30年間の各部門の増加と充実は素晴らしいものだが、思いはやはり国民文化祭につながって行く。第3回(兵庫)、第9回(三重)の合唱の祭典に出演したが、その間の全国各県のホールの充実と合唱レベルの向上は驚異的なものがある。3年後大分で開かれる国民文化祭に向けて、音楽的環境の充実を切望しながら、何とか早急に県合唱界のレベルアップを計らねば、と思いつつ悩んでいる。

平成10年の国民文化祭に向けて



大分県室内楽協会事務局長

辛 島 光 義

昨年、県内有志の手で、大分県室内楽協会が発足した。室内楽の分野は、比較的地味な内容ではあるが、県内の多くのグループがそれぞれ研鑽の成果を発表している。

今回発足した協会は、弦、管、ピアノ、声楽の四部門で出発。会員同志で自由にアンサンブルを組むことが出来ることと、今までになかった声楽部門を新設したことが特徴である。また、弦楽合奏団(15名)を組織しており、管楽器を入れた室内管弦楽団の誕生を夢見ているところである。

今年初めて県芸術祭に参加して、県民の皆様からの暖かいご声援、ご指導を得て、意を強くすると同時に、平成10年の国民文化祭の成功に向けてさらなる精進を期している。

第10回国民文化祭・とちぎ'95に参加して



暖かい拍手を頂き感激

明野レディースコーラス 山崎 泰子

さわやかな秋晴れの朝、私達31名は、栃木県で開催される第10回国民文化祭に向けて大分空港を飛び立った。

今市市で開催された合唱祭には、全国から25団体が出演した。出場団体は、少年少女、高校、大学、一般、いずれも全国コンクール金賞グループがならび、実に聞きごたえのある合唱祭であった。

私達も一年間の練習の成果を思いっきり発表できたが、一曲終る度に暖かい拍手を頂き感激した。会場には団のOGも数名駆けつけてくれ、再会を喜び合った。

杉並木と二宮尊徳で有名な今市市は、人情も厚く、心遣いも細やかで、学ぶべきことも多かった。感動と楽しい交流の場を与えてくれた関係者に心より感謝したい。



人形劇をやっていて良かった

人形劇団あいあい 村上 むつみ

大分県を代表する民話「吉四六さん」の人形劇をひっさげて国民文化祭に参加した。

大分弁で演ずる人形劇なので、まず、簡単な大分弁講座を開催。ことばに慣れてもらったところで人形劇に入った。

6人の団員の心がひとつになって人形と一体化する。会場が笑いの渦に包まれ、終りのことばとともに大きな拍手が沸き上がり賛美のことばを浴びせられた。あっという間の30分だった。「人形劇をやっていて良かった。」と心底思える舞台だった。

10劇団の公演を観て、1つの講習会に参加。

良い所、気をつけたい所、大衆の扱い方等たくさん学んだ。今後、それらを取り入れてより一層すばらしい人形劇を作って行きたい。

他劇団の人々とも交流を深める事が出来、大変有意義な国民文化祭だった。



三絃演奏のむずかしさを痛感

覚友会 菊山 覚自

10月28日朝、羽田着。空港からJRでは三絃の持ち運びが大変なのでレンタカーを利用して宇都宮着。ホテルで休息してリハーサルの準備をし、会場である栃木県総合文化センターに入る。リハの予定が急に1時間繰上り慌てた。控室から会場までかなりの距離があり移動の時三絃の扱いに神経を使い大変であったが世話係の親切な案内で無事終ることができた。夜の交流会は盛会で和やかな一時を過ぎた。翌29日、出演まで特別出演や他県の演奏を鑑賞したが、今年は第10回と言うこともあってか全体に内容が良かった。この邦楽祭に参加できた事は意義ある事と思った。唯、暗転の舞台での準備は(音が出せない)三絃演奏にとって難しさを痛感した。平成10年の当県開催はとても大変な事だと思った。

花ひらけ大分の国民文化祭



国民文化祭 Q&A

— 21世紀へ 文化をおこす豊の風 —

平成10年10月17日～10月25日の9日間

☎お尋ね／編集部 ☎お答へ／国民文化祭準備班参事 後藤和昭

Q 国民文化祭とは、どんなものですか。

A 国民の日常の文化活動を大きな舞台で発表する場をつくることにより、出演や鑑賞をとおして資質の向上を図り、高まる文化への志向に応えるために行う「国民の文化の祭典」で、言い換えれば「文化の国体」です。昭和61年から東京都を皮切りに、毎年各県持ち回りで開催し、今年第10回を栃木県で開催しました。

Q 県の現在の取組み状況は。

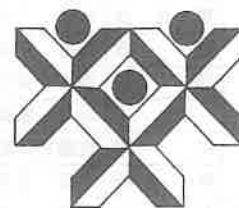
A 今年度は、運営と実施を図るための「県実行委員会」の組織を始め、演劇や文芸などの各事業毎に「企画委員会」を設置して事業内容の検討を行います。また、事業の開催市町村や会場及び期日なども今年度中に決めます。この事業の準備は、私ども県企画総室の「国民文化祭準備班」が担当しています。

Q 今後開催までにどんなことをするのですか。

A 8年度に38事業の具体的な内容を検討して各事業の「実施計画」を作成します。9年度から、出演者や作品の募集を開始し10年に最終決定します。また、県民を始め多くの人々への周知を図るためマスコットやイメージソング等の作成、文化大使やコマーシャルなどをとおして「広報活動」を行います。そして9年には「プレ国民文化祭」を開催します。

Q 種目はどんなものですか。

A 「総合フェスティバル」「シンポジウム」「分野別フェスティバル」の3つの部門で行います。分野別では、合唱、吹奏楽、オーケストラ、民謡・民舞、演劇、吟詠剣詩舞、民俗芸能、文芸、美術、生活文化、オペラ、落語、日本舞踊、洋舞踊、邦楽、能楽、室内楽、マーチング・バンド、若者音楽、民話劇・人形劇、映像、彫刻・陶芸、竹文化、香り文化、南蛮文化、八幡、海の文化、お話し、ロボット、マルチメディアなどの各フェスティバルを、また夜のイベントとして音楽を中心とした「月光の祭典」も行います。詳しくは☎0975-36-1111内線2055または2056にお気軽にお尋ねください。



シンボルマーク

事務局だより

平成7年度 会員(秋)の受彰(賞)者紹介

- ★文部大臣表彰 (地域文化功労者)
伊 坂 里 (大分県民踊連盟会長)
- ★大分県知事表彰
(青少年育成県民会議運営委員功労者)
佐々木 均太郎 (別府大学教授)
- ★大分合同新聞文化賞 (芸術文化功労者)
檜 原 長 甫 (漆芸家)
- ★大分合同新聞文化賞 (芸術文化功労者)
大 崎 聡 明 (写真家)

芸術補助事業で開催される行事 平成8年1月～3月

行 事 名	開催月日	会 場	主催団体名
第21回吹奏楽フェスティバル アンサンブルコンテスト	1月7日	県立芸術会館	大分県吹奏 楽連盟
第13回定期演奏会	2月11日	県立芸術会館	大分市少年 少女合唱団
大分県合唱講習会	2月18日	県立芸術会館	大分県合唱 連盟
第35回邦楽演奏会	3月10日	宇佐文化会館	大分県三曲 協会
第10回二科会大分県公募展	3月19日 ～24日	県立芸術会館	二科会大分 県支部
大分ジュニアコーラス 定期演奏会	3月28日	コンパルホール	大分ジュニ アコーラス

基金へ寄付

「国際ソロプチミスト大分ーみどり」の会(会長 莊司順子)より、さる10月31日大分県芸術文化基金の一助にと金10万円が寄付されましたので、ご報告します。

会費納入についてお願い

平成7年度の会費は、現在団体会費89%・個人会費78%の納入状況です。お忘れの方は是非納入くださるようお願い申し上げます。

海外派遣の荒武さん、ロシアへ出発

平成7年度の基金事業＝海外派遣研修事業は、大分県洋舞踊協会事務局長の荒武久美子さんに決定し、12月14日にロシアへ出発しました。研修テーマは、地方都市の子供に適したクラシックバレエの教授法の研修です。

住所変更・代表者の変更等は事務局へ

年末・年始を迎え会員の方々には、色々御多様のことと思います。定期総会・会議などで、所在地(住所)変更・代表者の交替・事務局の異動などがありましたら、事務局まで連絡してください。

95年版「大分県文化年鑑」の編集開始

編集委員・執筆委員の先生方には、大変なご尽力を頂いているところですが、本年度第1回の編集委員会で、編集方針・編集スケジュール等が決定しました。編集委員の先生方は、各ジャンル(執筆委員)の執筆をとりまとめ平成8年1月末迄に事務局に提出することになってい

ます。また会員の方で資料提出等の依頼があった場合は、よろしくご協力くださるようお願いいたします。

なお編集委員・執筆委員の先生方は下記名簿のとおりですので、よろしくお願いいたします。

★「文化年鑑」編集委員及び執筆委員名簿

ジャンル	氏名	ジャンル	氏名	ジャンル	氏名	ジャンル	氏名				
文芸	まとめ・小説	佐々木均太郎	美術	彫 刻	合田 習一	音楽	合 唱	河野 昭二	演劇	自立演劇	小袋 丹
	現 代 詩	首藤 三郎		工 芸	佐藤 武郎		オ ペ ラ	小長 久子		高校演劇	飯田 昭一
	短 歌	日野 正美		書 道	樋口 紫水		軽 音 楽	中野 幸和		児童演劇	首藤 悦爾
	俳 句	香下 寿外		写 真	河野 公記		邦 楽	後藤 碩山	能 楽	緒方 基秀	
	〃	足立 雅泉		宣 伝 美 術	波多野義孝		民 謡	松井 猛	生 活 文 化	藤原 嘉久	
	川 柳	佐藤真砂延		ま と め	山本 勝彦		吟 詠	深田 光露	文 化 財	秋吉 心良	
美術	俣 謡	土屋 北彦	音楽	声 楽	土谷 正公	舞踊	まとめ・洋舞	佐藤 朱音	表 紙	首藤 詔子	
	ま と め	十時 良		器 楽	辛島 光義		日 舞	花柳笹之丞		カ ッ ト	清水 和雄
	洋 画	脇坂 秀樹		吹 奏 楽	斎藤 哲哉		民 踊	伊坂 香里			
	日 本 画	鈴木 忠実		作 曲	野崎 哲		演劇	ま と め		中沢とおる	